

## 中央病院における医療事故について (和解による損害賠償の額の決定についての議案関係)

### 1 医療事故の概要

令和4年9月、腎腫瘍に対する治療のためロボット支援鏡視下腎部分切除術を実施し、術後、HCU（※1）で全身管理を行っていましたが、血圧低下、貧血がみられたため、輸血、血管造影、動脈塞栓術を実施しました。しかしながら、その後も血圧の維持ができず、全身状態が安定しないため、ICU（※2）に転棟し、挿管の上、全身管理をしたものの、さらに全身状態が悪化したため、緊急で開腹による右腎摘出術を実施し、輸血等の処置を試みましたが、全身状態は改善せず、翌日早朝、出血性ショックによりお亡くなりになりました。

- ※1 HCU（High Care Unit：高度治療室）とは、大きな手術後に集中的な管理を必要とする患者等が対象であり、ICUよりも重症度が低い患者を対象とした病棟である。
- ※2 ICU（Intensive Care Unit：集中治療室）とは、生命維持に危険がある患者を対象とした病棟である。

### 2 事故の原因

中央病院では、術後、院内で外部委員（医師）を加えた医療事故調査委員会を開催するなどし、事故原因の調査・分析を進めました。

死亡の原因につきましては、術後の出血に対し、動脈塞栓術、右腎摘出術や輸血等を実施したものの、既にDIC（播種性血管内凝固症候群）（※1）に至っており、出血が止まらず、出血性ショックとなったことによります。また、術後はドレーン（※2）を挿入し、HCUにて管理を行っていましたが、ドレーンからの排液量が多くなかったことと、患者のバイタルサインの変動が起こらなかったことで、出血に対する検査、処置が遅れました。

出血の原因につきましては、手術中、腎動脈の損傷に対する止血操作において、結紮回数<sup>けっさつ</sup>が通常の数よりも少なかったため、縫合した場所の強度不足により、術後に緩む可能性がある手技があったことが判明しており、そこから再出血した可能性を医療事故調査委員会において指摘されています。

- ※1 DIC（播種性（はしゅせい）血管内凝固症候群）とは、小さな血栓が全身の血管に発生し、細い血管を詰まらせる病気。塞栓部位で凝固因子が大量に消費されることで出血の抑制に必要な血小板と凝固因子を使い果たすため、止血困難な状態を呈すること。
- ※2 ドレーンとは、手術中や治療において、体内にたまった血液、膿、浸出液などを体外に排出するために留置する管である。術後の出血量の確認や、縫合不全、消化液の漏れの早期発見等を目的としている。

### 3 事故後の対応

医療事故調査委員会の調査結果を受けて、事故と死亡との因果関係について病院の顧問弁護士等の見解も踏まえたうえで検証を行った結果、病院に過失があると結論付け、令和7年8月に顧問弁護士が患者遺族と面談し、損害賠償について交渉を始めました。その後、患者遺族弁護士と示談交渉を行った結果、令和8年4月に損害賠償額について受け入れる意向が示されたことから、この度、地方自治法及び地方公営企業法の規定に基づき、6月県議会定例会に損害賠償額決定に係る議案を提案するものです。

#### 4 損害賠償の内容等

- ① 損害賠償の相手方 A及びB（患者の遺族）
- ② 損害賠償額 32,000,000 円（全額病院賠償責任保険で支払予定）
- ③ 損害賠償の内訳 慰謝料、逸失利益及び葬儀費用
- ④ その他 6月議会の議決後、和解手続きを経て損害賠償金を支払う。

#### 5 主な経緯

- 令和4年9月 ロボット支援鏡視下腎部分切除術を実施。術後、血圧が低下し、処置を行ったものの、翌日早朝に出血性ショックにより死亡。
- 9月 事故の原因究明と再発防止のための医療事故調査委員会を開催。
- 12月 外部委員（医師2名）を加えた医療事故調査委員会を開催。
- 令和4年12月 本件事故の病院の有責性等について顧問弁護士等の見解も踏まえ  
以降 検証を実施。
- 令和7年8月 顧問弁護士が患者遺族と面談し損害賠償について交渉を開始。
- 12月以降 顧問弁護士と患者遺族弁護士との間で損害賠償額を交渉。
- 令和8年4月 患者遺族弁護士から顧問弁護士あてに、損害賠償額について受け入れる意向が示された。

#### 6 再発防止策

血管損傷時の縫合の手技について、結紮回数が少なくなった場合は追加の縫合を確実にするなど、複数の医師で止血確認を行うこととしました。

また、後腹膜アプローチでの手術においては、ドレーンの閉塞等により排液量が少なくなる場合があることを念頭に置き、術後管理を行う際は、ドレーン挿入部のガーゼ汚染等、ドレーン以外の周辺情報についても細かく観察し、異常の早期発見につなげることにしました。